

バスケットボール戦評記入用紙

大会 平成26年度 全国高等学校総合体育大会 バasketボール競技大会 埼玉県予選
日時 平成 26 年 6 月 20 日 金 曜日 第 1 試合 K コート 時刻 10:00
場所 和光市総合体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
正智深谷 高校	63	$\left(\begin{array}{l} 17 - 20 \\ 13 - 12 \\ 13 - 19 \\ 20 - 17 \end{array} \right)$	68	山村学園 高校

<戦 評>

インターハイの出場権をかけて大事な決勝リーグの初戦。関東大会でBリーグ準優勝を果たし波に乗る正智深谷と、#9, #11のガード陣がけがから復帰し、ベストメンバーの布陣で臨む山村学園が激突。

1P 立ち上がり、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。正智は#4の外角シュートで先攻すると、持ち前のオフェンス飛び込みリバウンドや速い切り換えからの速攻などで得点。一方、山村は#5, #10がドライブや中へ飛び込んでの得点で応戦。残り3分で11-7 正智リード。その後山村は、#18が入って3Pを決めるとリズムをつかみ、#10のリバウンドシュート、#9の3Pで14-20と逆転しこのピリオド終わるかと思いきや、正智#10がブザービータの3Pを決め17-20と粘ってついていく。

2P 正智は、平面的な動きを生かしたカッティング、ドライブからパスアウトして3P、山村は高さを生かし、#5のパワープレー、#10, #13のペイントエリアでの得点を主体として互角の展開となる。
30-32 山村2点リードで前半終了。

3P 山村は#11の3P、#10のリバウンドなどで一気にたたみかける。5分で34-45とリードを11点とする。なんとかついていきたい正智は、#5の果敢なリバウンド、#6の3Pなどで粘り43-51で、このピリオド終了。

4P 山村の高さがボディーブローのように効き、正智は必死に追いつがるが、得点差を縮められない。残り6分で正智はタイムアウトをとり、ゾーンプレスを仕掛けプレッシャーをかける。山村は攻撃のリズムを狂わせ、残り4分52-62でリード10点差のところをタイムアウトをとるが、正智は#4, #10の思い切りのいい3Pシュートで勢いをつけ、残り2分で60-64と4点差まで追いつく。山村はあわてず、要所で#5が1:1のパワープレーで得点し、最終スコア63-68追いつがる正智を振り切り、山村が決勝リーグ初戦をものにした。